





卓 話

地域防災について考える

沼津市危機管理監  
塩崎 滋様

災害リスクは「ハザード」(災害を引き起こす可能性のある現象)、ハザードにさらされる「対象」(人、もの、社会システムなど)、対象の「脆弱性」(高度な都市機能、コミュニティの希薄化など)から構成されています。これら3要素は、ハザードが生じても対象がなければリスクはなく、ハザードと対象があっても脆弱性がなければリスクはないという関係が成り立ちます。防災は、この脆弱性の解消、すなわちレジリエンス(強靱性)の形成を目指すものです。

レジリエンス形成のためには、地域住民が結束力を発揮して平時の備え、発災後の応急対策、復旧復興にあたる地域共助活動、いわゆる地域防災が極めて重要です。共助を促進する鍵はソーシャルキャピタルであると言われます。ソーシャルキャピタルとは「人々の協調行動を活発にすることによって社会の効率性を高めることのできる社会的な関係」を指します。社会的な関係は「社会的信頼」「互酬性の規範」「ネットワーク」の3要素で成り立っており、住民間でこうした要素が見られる地域は快適で住みやすいと言われています。

ソーシャルキャピタルの形成と地域活動の活性化は互いに高め合うポジティブフィードバックの関係にあると考えられており、市ではこれを実践する活動として、津波浸水想定区域の連合自治会を対象に、津波からの避難行動計画づくりのワークショップを実施してきました。この取り組みは、防災を機軸とした地域活動の活性化を図りながら、災害リスクはあるけれども地域が工夫しながら安心して住むための地域のルール作りを目指すものです。

釜石の奇跡を主導した群馬大学の片田教授は「大津波は100年に1回あるかないか。津波を過度に恐れる必要はないが、津波が来るときだけは災いをやり過ごすための行動をとれ。それがこの土地に住む人が持つべきお作法だ。」と説かれています。このお作法を地域でルール化するためのコミュニケーションがソーシャルキャピタルを生み、ひいては地域レジリエンスをもたらします。地域防災はそのための動機づけ、成果にもなるのです。

ロータリーの標語 超我の奉仕



合同柿田川清掃奉仕活動開催  
2018.9.1(土) 於：柿田川公園

当地区の他、第2580地区のメンバーも参加し大勢で手分けをすることで、柿田川の外来生物の駆除と清掃を行うことができました。参加された皆様、お疲れ様でした。

出席者 細澤君、大村君、石川君、實石君、村上君、野口君、大石君、太田君、山口君、吉野君、沼商 I A C 5名、桐陽 I A C 11名



沼津RC親睦ゴルフコンペ 2018.9.8(土)  
於：新沼津カントリークラブ

吉野君のホールインワン祝賀会を兼ねてのゴルフコンペが開催され、結果は、優勝三好君、準優勝木村君、3位森藤真以様となりました。

出席者 三好君、木村君、渡邊(真)君、吉野君、實石君、杉山君、森藤君、原田君、大友君、加部君、大村君、森藤真以様

幹事報告

1. 例会変更のお知らせ  
富士宮…9/24(月)は祝日休会
2. 9/2(日)社会奉仕・国際奉仕合同セミナー  
⇒細澤君・大熊君・三好君・山口君 4名出席
3. 米山梅吉記念館賛助会員募集のお願い
4. 「ロータリーの友」9月号 配布

スマイル・ボックス

細澤君…沼津市危機管理課塩崎様、杉山様、本日はよろしくお願ひいたします。

石川君…職員採用面接のため早退させていただきます。

實石君…本日配布されたG月信に“私のレシピ”という記事が載りました。山口G補佐の身代わり仕事でした。

野口君…家内の誕生日プレゼントありがとうございます。9/1の柿田川お疲れ様でした。良い体験ができました。

太田君…9/19で満70歳になります。

寺田君…妻の誕生日をいただきありがとうございます。

渡邊(雅)君…妻と私の誕生日祝いありがとうございます。

<p><b>A</b></p> <p>◎長橋 〇峯尾 積 向坂 太田 清 木村</p>	<p><b>M</b></p> <p>細澤 大村 吉野 東 渡辺(好) 大友</p>	<p><b>D</b></p> <p>◎塚本 〇大石 望月 野口 渡邊(洋) 杉山 辻</p>
<p><b>B</b></p> <p>◎高地 〇白壁 石渡 勝呂 森藤 野際</p>	<p>10-12月度 テーブル編成表 (十二支) ◎マスター 〇サブ</p>	<p><b>E</b></p> <p>◎村上 〇山本 寺田 服部 榊原 實石 峯村</p>
<p><b>C</b></p> <p>◎大熊 〇楠木 道前 石川 上田 渡邊(秀) 三好 原田</p>		<p><b>F</b></p> <p>◎奥村 〇加部 渡邊(雅) 渡辺(芳) 山口 渡邊(真)</p>